

コミュニティ・スクール(CS)の効果は？



コミュニティ・スクールの導入により、

- 1. 組織的・継続的な体制の構築 = **持続性**
- 2. 当事者意識・役割分担 = **社会総掛かり**
- 3. 目標・ビジョンの共有 = **協働** が期待できます。

コミュニティ・スクール(CS)の魅力は？

子どもにとって

- 多くの人とのかかわりによる社会力の育成
- 豊かで多様な体験や学びが充実
- 地域の担い手としての自覚の高まり
- 安心、安全な生活



保護者にとって

- 保護者同士や地域のみなさんとの人間関係の構築
- 学校や地域に対する理解の深まり
- 地域の中で子どもたちが育てられているという安心感

学校にとって

- 地域の理解と協力を得た学校運営の充実
- 地域資源を活用した教育活動の充実
- 地域との協働により子どもと向き合う時間の確保
- 防犯・防災体制等が構築

地域にとって

- 個々の経験を生かすことによる充実感ややりがいの達成
- 学校を通した多くの人との交流
- 地域の活性化につながる
- 防犯・防災体制等の構築



学校運営協議会の役割

1. 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
2. 学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べることができる。
3. 教職員の任用*に関して、教育委員会に対して意見を述べることができる。

*任用とは、学校の課題解決や教育活動の充実のために校内体制の整備充実を図る観点から、学校と学校運営協議会が実現しようとする教育目標等に適った人材を求めることです。特定の職員の採用任用に関すること、分限および懲戒に関することではありません。

学校運営協議会の組織体制

会長 豊田操 **副会長** 篠崎悦子

委員 鈴木昇、山口定男、堀山幸治、岩崎富美江、中村美徳、
菊地和幸、望月惇、千原智美、鈴木勝久、小林聖子 (敬称略)

*委員は、教育長および校長が推薦する、児童生徒の保護者、地域住民、学校の運営に資する活動をおこなう者、校長、教職員、学識経験者、関係行政機関の職員、その他教育委員会が認める者で、教育委員会が任命します。人数は14名以内、任期は2年以内です。



◎お問い合わせ 教育委員会 学校教育G ☎ (84) 1462 (直通)